

第93回 GAORA 番組審議会記録(2026 年 6 月開催)

第93回番組審議会が6月11日(木)に開催され、対象番組について審議を行い、委員の皆様から以下のご意見をいただきました。

<対象番組> プロ野球名球会ゴルフ対決 in 宮崎 ～女子プロと真剣勝負～

初回放送 #1:2026 年 3 月 26 日(木)24:00～24:30

#2:2026 年 3 月 26 日(木)24:30～25:00

#3:2026 年 3 月 27 日(金)24:00～24:30

#4:2026 年 3 月 27 日(金)24:30～25:00

<番組概要>

日本プロ野球界を彩ってきたレジェンドたち、野村謙二郎、谷繁元信、宮本慎也、和田一浩が宮崎に集結。舞台は、日本屈指のゴルフリゾート「トム・ワトソンゴルフコース」、そして「フェニックス・カントリークラブ」。彼らが挑む相手は、JLPGA ツアー2 勝を誇る女子プロゴルファー・山内日菜子。ただのエンジョイゴルフでは終わらない。勝負師たちの“負けず嫌い”がむき出しになる、本気のゴルフ対決。“野球界のレジェンドは、ゴルフでも強いのか？”

トップアスリート同士だからこそ生まれる、緊張感と笑い、そして大人の本気遊びを描くスポーツエンターテインメント番組。

<委員長総括>

■各委員の評価は、総じていろいろな要素が詰まったいい番組であった。

今回の番組は、「ゴルフ対決」と「プロ野球レジェンドトーク」と内容の違う要素がうまく噛み合った成功例として評価したい。違った要素を組み合わせることは、必ずしも成功するとは限らず、視聴者ターゲットをどこに置いた番組とするか、今後の番組作りにおいても検討課題として研究して欲しい。指摘点としては、ゴルフ対決中のルール変更は、スポーツ対戦の真剣さがスポイルされてしまい兼ねず残念であった。スポーツ対決における対戦ルールは、番組の成否、盛り上がり左右する重要なポイントである。今回のルール設定にはもうひと工夫、事前に踏み込んだ検討が必要であったように思う。

各委員ご意見を今後の番組作りに生かしてもらうよう期待する。

<審議意見> 委員の主な意見は次の通り

■ホール上のボールの位置や使用クラブなど画面上いろいろな面で見せる工夫がされていた。ゴルフの対決シーンとトークへの切り替えがいいバランスで構成されており、更に現役時代の裏話が興味深くおもしろかった。また、青木プロのワンポイントレッスンの説明が大変分かりやすく、多角的な魅力が盛り込まれた番組になっていた。1点気になったところとして、ナレーターが山内日菜子プロのことを“ちゃん付け”で呼んでいるところに抵抗感を感じた。

- プロ野球ファンにとっては、現役時代を知る名球会メンバー4人と豪華な顔ぶれが出演し、YouTube チャンネルをそれぞれが運営している面々であり、しゃべりも達者で現役時代の裏話が聞けて大変楽しく視聴することができた。冒頭に4人の関係性を谷繁さんが整理して説明してくれたのが分かりやすく丁寧であった。アマチュアゴルファーには、和田さんの質問が為になった。一方、山内プロの出番が少なく、もったいなく感じた。また、青木さんのワンポイントレッスンももっとあれば、番組として厚みが出たのではないかな。
- 名球会メンバーの現役時代の活躍を知るものとしては、ゴルフの腕前以上に出演者4人の会話が心地よく、対戦時の裏話が聞けて大変おもしろかった。トークを通して、それぞれのキャラクターや関係性がよく伝わってきた。今回は、元プロ野球のレジェンド選手4名がメインであったこともあり、青木プロの番組内での立ち位置がよく分からず、露出を含めてもったいなかったのではないかな。
- 最初に4人の関係性を整理して教えてくれたことで、ストレスなく最後まで視聴できた。画面4分割のトークシーンは、表情がよく伝わってきてよかった。制作意図として掲げた「ここでしか聞けないプロ野球トーク」は大変おもしろく、「仲間同士の空気感」はよく伝わってきたが、「アマチュアにも役立つ実践レッスン」は薄く、「宮崎のリゾート感」は足りなかった。選手の回顧談と自分の記憶を結び付けながらトークを聞くというのは、ファンとしての楽しみ方であることに改めて気付かされた。視聴者の記憶を呼び起こすためにも、そのシーンの映像や字幕が出れば、より興味深いものになったであろう。
- プロ野球界のレジェンドからグラウンドでは見せない表情がみられ、元はライバル同士、今は名球会の仲間同士、まさに“大人の修学旅行”といった柔和な表情、空気感がよく伝わってきた。1ホール毎のゴルフ対決とトークシーンの構成がテンポ良く、いい構成であった。青木プロのワンポイントアドバイスはタイミングがよく、内容は為になった。一方、途中でのルール変更はいかなるものか。4人のスクランブル方式と女子プロの対決では、内容面で厳しく、青木コーチと女子プロのスクランブルにするなり、名球会チームが挑戦するような構図にした方がゴルフ対決は盛り上がったのではないかな。また、トークに名前が出てきた選手については、写真があればより記憶が蘇ったのではないかな。最後にクラブハウス内で帽子を被ったままの収録シーンにはマナー面で違和感が残った。
- 1ホール1話のゴルフ対決とトークによる構成、そのバランスが非常によく、番組として非常におもしろく仕上がっていた。ゴルフ対決の真剣さとトークの際の仲の良さ、「緊張と緩和」のコントラストが際立っていてクオリティの高い番組であった。注文を付けるとすれば、ゴルフ対決では、同世代の女子プロがもう一人加わればもっと接戦になったのではないかな。対談シーンでは、トーク内容に応じて視聴者が求める情報を上手く画面上に表示できればよりよくなったであろう。また、30分番組(×4本)ではなく、60分番組(×2本)にも十分なり得る内容であった。

[審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、石塚徹委員（以上7名）

以上、GAORA では、委員の皆様の貴重なご意見を、より良い番組をお届けしていくために活用させていただきます。